

## 「南紀生物」投稿規程 (2018年9月改訂)

1. 投稿者は、個人会員に限る。共著者には会員以外のものを含むことができるが、筆頭あるいは責任著者は会員に限る。なお編集委員会が認めたときは会員以外からの特別寄稿を受けることがある。
2. 投稿内容は、生物に関する総説・論文とする。総説・論文は、1編につき、刷り上がり6頁以内とする。これを超過するものについては、超過頁印刷代の全額を著者が負担する場合に限り、認めることがある。
3. 原稿作成の留意点
  - 1) 原稿は日本語を用いて横書き(1行25文字×30行、句読点は「。」と「,」)とする。A4縦判の片面に打ち出した原稿(図表含む正副2部)を郵送し、同時に電子メールで添付ファイルとして送信する。和名はカタカナ、学名はアンダーラインを引きイタリック体に、命名者は第2文字以下に2本のアンダーラインを引きスモールキャピタルに指定のこと。本文中に最初に出てきた学名には命名者名を入れること。例. クマノチョウジゴケ Buxbaumia minakatae S. OKAMURA
  - 2) 1頁目は、表題(和文と英文)と著者名(和文と英文)(\*印をほどこして最下行に脚注し、勤務先または住所、E-mail(任意)アドレスを記す)とし、2頁目から、本文・引用文献・図表説明とする。必要ならば欧文要約(Summary)を付ける。複数著者の場合は、右肩に数字をつけ(例. <sup>1)</sup>, <sup>2)</sup>), 責任著者には、\*印もつけておく。
  - 3) 図はすぐに製版できるようにし、説明は別紙にまとめて書くこと。電子媒体に保存された写真で、カラー写真の場合はカラーでプリントアウトしたものを添える(色補正用に使用、白黒写真も受付)。本誌では写真も図として扱う。図(特に図中の文字の大きさ)は縮小率を考慮して作成すること。図の縮小率は編集委員会に一任すること。また、表や図のおよその位置は原稿の右欄外に朱記のこと。なお、本会HPの割付レイアウト用枠を参考にするとイメージしやすくなる。
  - 4) 本文中での文献の引用は次の例に従う。3名以上のものについては「ほか」または「*et al.*」とする。欧文字人名は第2文字以下に2本のアンダーラインを引き、スモールキャピタルに指定のこと。  
例1. 本種の検索にあたっては、松原(1955)及び明仁親王・目黒(1977)によった。  
例2. …と報告されている(黒田, 1957, 1960; 湊, 1976; ADACHI & WADA, 1998)。  
例3. YAMADA et al. (2001)と山田ほか(2002)は…
  - 5) 文献は本文中に引用されたものに限り、かつ、引用されたものはすべて末尾に一括して次の順にあげる。①第1著者の姓のアルファベット順とする。②第1著者が同一の場合は単独のものを最初におき、そのあとは第2著者の姓のアルファベット順とする。第2著者も同一の場合は、第3著者以下について上記に準じて配列する。③すべての著者が同一のものについては、発表の年代順とする。④同一著者かつ同一年代のものについては、年号のあとにアルファベットを付して、1972a, 1972bのように区別する。
  - 6) 末尾の引用文献は下記の形式によって記すこと。雑誌の巻数は波アンダーラインを引き、ゴシック体に指定のこと。号数は( )に入れる。  
<雑誌の場合> 著者名. 年号: 表題. 雑誌名, 巻(号), 頁.  
<単行本の場合> 著者名. 年号: 表題. 頁数. 発行所, 発行地.  
例1. 内田絏臣, 1977: 紀州産多毛類II ウロコムシその1. 南紀生物, 19(1), 6-12.  
例2. 沼田 真, 1967: 生態学方法論. 改訂版. 254pp. 古今書院, 東京.  
例3. 三宅貞祥, 1965: 十脚目異尾類 (ANOMURA) 概説. in 岡田 要ほか編. 新日本動物図鑑 [中], 630-652. 北隆館, 東京.  
例4. SAKAI, T. 1969: Two new genera and twenty-two new species of crabs from Japan. Proc. Biol. Soc. Wash., 82, 243-280.  
例5. MAYR, E. 1963: Animal Species and Evolution. 797pp. The Belknap Press of Harvard University Press, Cambridge.  
例6. CRISP, D. J. & E. BOURGET. 1985: Growth in Barnacles. in J. H. S. BLAXTER, F. S. RUSSELL & M. YONGE (eds.) Advances in Marine Biology, 22, 199-244. Academic Press, Cambridge, Massachusetts.
4. 原稿の採否、割付、再校以降の校正等については編集委員会に一任のこと。なお、初校のみを著者校正とするが、版の組み換え等が必要な大きな変更は認めない。著作権は南紀生物同好会に帰属する。

※ 投稿の際は、この「投稿規程」と「会告」をよく読み、最近号を参照して下さい。